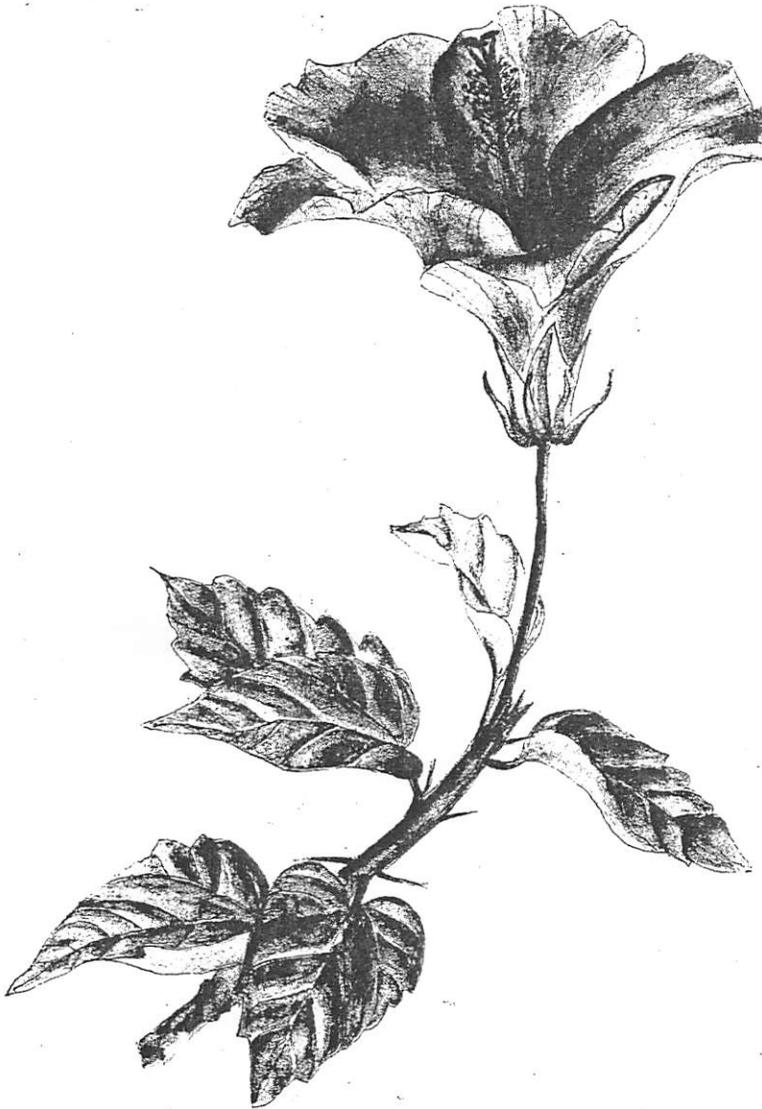


昭和こじょう会便り

17号

1999年9月



歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会

楽しく 歩こう会にご参加下さい

次回は 9月22日(水) 行き先 『なばなの里』

歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会歩こう会

発行／名古屋市高年大学鯉城学園昭和鯉城会

『 随 想 』

名古屋市老人クラブ連合会

会長 伊藤 治郎

平成 11 年は、皆様ご承知の通り「すべての世代のための社会をめざして」をテーマとする国際高齢者年です。単なる記念年や敬老年ではなく、国連の呼びかけたテーマと原則を実現するための行動年です。21 世紀は高齢者の世紀であると思います。本格的な少子、高齢社会を迎えており人口の四分の一をも占めることになる。従ってこれからの高齢社会を明るく活力に満ちたものとしていくためには高齢者のパワーを集約し、社会のなかにうまく組み込んでいくことが不可欠であると思はれる。

お互いに自立と人間性を尊重しあい自らの知識、経験を生かして、活力ある高齢期の実現に努力したいものです。行政当局においても高齢化対策の一環として国内でもハイレベルの鯉城学園を創設されました。地域社会とのつながりの中で、就労・学習機会などの充実をはかり生涯現役保持のためお互いに交流を深め、明るい・心豊かな高齢社会の形成につなげたいと思います。学園建学基盤もこれにあらうかと推察しております。

高齢期は「第 2 の現役世代」である。又「会社人間から社会人間へ」と言いたいのであります。

平成 12 年 4 月よりはじまる介護保険制度に注目が集まり色々と不安視されております。この問題は非常に切実で大きな課題であり、要介護者やその家族に対しては最大限の支援が必要である。しかし同時に 8 割か 9 割の高齢者は、通常は介護や援護を必要とせず暮らしている。われわれは、その 8・9 割の枠内に最大限に保留につとめ、相互支援・友愛活動の一助に参加できれば幸いである。お互いに無理せず健康で生きがいのある日々であるよう祈って愚想を終わります。

伊藤会長（4 期 陶芸）は昭和区老人クラブ連合会の会長でしたが、本年 4 月から名古屋市老人クラブ連合会会長に就任されました。

桶狭間古戦場と 有松の町並コース

[歩こう会] 6月

12期 地域 川口 保

5月19日の「庄内緑地グリーンプラザ」は残念ながら雨天で中止となり、今年度初めての「歩こう会」は、6月17日に名古屋は南東の端[桶狭間古戦場と旧東海道有松の町並]を散策。

今回も雨ではないかと心配したが、何とか晴天に恵まれ、18名が鶴舞を高速市バスで出発。

***桶狭間古戦場跡** (公園)

戦国時代に駿河・遠江・三河に強大な勢力をもつ今川義元が天下統一をめざして1560年京都に向かって進撃する途中本陣を構えているところを、織田信長が奇襲して義元を討死させた戦場跡。区画整理事業に伴い町内のあちこちにあった史跡を移設し、この公園に集めたもの。あまり古戦場らしくなく残念である。

***有松山車会館**

有松には市指定の民族有形文化財である山車が3台あり、毎年交互に展示。市内でも数少ない由緒ある山車である。

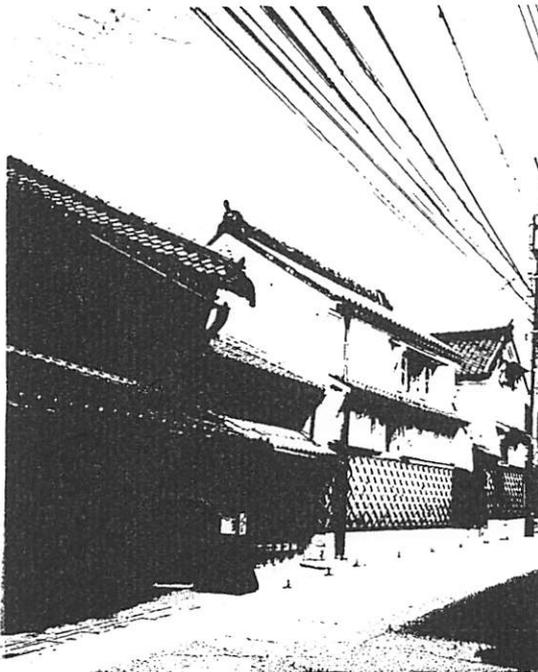
***有松の町並**

(服部邸・岡邸・小塚邸・竹田邸等いずれも絞関連事業。県または市指定文化財) 旧東海道の町並を今に残す数少ない町屋建築。江戸時代が忍ばれる。

この他町内の神社・寺院を参拝見学、菅原道真公をまつる「天満社」境内の木陰で、各自持参の弁当をほうばりながら休憩をとると共に、会員相互の懇親を深め、有意義な「歩こう会」であった。

今後も大勢の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

以上



第1回研修会

愛知ヨーク工場見学

11期 美術 林 功三

6月23日9時鶴舞駅集合、33名の予定者が30名の参加になりましたが早朝から愛知ヨークのバスにて本社工場に向かう。天気は曇りでしたが雨も降らず高速道路建設で変貌しつつある19号線の工事を眺めながら、10時ごろ小牧の工場に到着する。

二手に分かれて工場内を見学、ビデオ上映後主力商品のヨーグルトと野菜ジュース、その他製品の説明と試飲を行い、その後で、本日研修会のメインとなる愛知ヨーク会長平野巳之介氏の健康講座を1時間拝聴する。平野会長の82才とは思えぬ元気さと豊かな経験から湧き出るお話に感動をおぼえる事しばしでした。

私共の年齢になって考える事は当然健康の事です。心身共に健康で生きていけたら幸せだと感じる事は皆さんだれでも同じと思います。あまり歩かない私にとって「足は第2の心臓」と聞かされて少々気になりました。「自分の健康は自分で守る」判っているようで、ついつい忘れがちな言葉と行いについて、久しぶりに有意義なお話を聞く事が出来、今回の話しの内容を少しでも記憶に留めておくことが健康管理につながる事と感じました。

見学後、近くのレストランで懇親会を開催し、事故もなく名古屋へ帰りました。

【パンフレットの一部を書いてみました】

どんなに体に良いものでも

1. おいしくなければ飲まないし食べない
2. 面倒くさければ創らない
3. お金がかかれば長続きしない

生活習慣病。老化の原因は血の汚れから

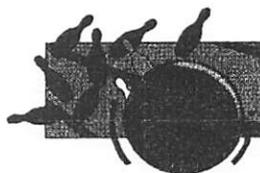
1. 自然環境
2. 精神作用
3. 食事の内容
4. 腸内細菌
5. 運動不足
6. 睡眠不足
7. 深酒とタバコ
8. その他

以上が老化防止と健康を保つ基本です

今回は愛知ヨーク平野会長からいろいろお話をお聞きしましたが会員の皆様にも多少なりともお役に立つ事があれば幸いかと感じます。

以上

尚、愛知ヨーク名古屋センター営業部の福井克海様にはお忙しい中、大変お世話になりました事を申し添えます。



昭和区区民まつり

(平成 11 年 7 月 24 日(土)午後4時 30 分～9時)

11 期 生活B 光崎 俊男

各種団体・ボランティアグループによる実行委員会を結成。それぞれの実行委員会が主催し、昭和区役所・昭和区社会福祉協議会の共催で実施されているものです。

昭和鯉城会は、両方の実行委員会に参加して、花苗の育成をして、グリーンコーナーにおいて、チャリティーバザーを^行い、売上金は「昭和区社会福祉協議会」に寄付。



花苗の育成は昨年に引き続き今年も、10 期の服部さんにほとんどお願いできました。10 期の飯田さん、13 期の林さんのご協力もあり昨年と同様 600 株を出品することができました。また、8 期の柴田さんより亡き奥様の形見の盆栽を寄付していただき感謝しております。今年の花苗は、質のよいものが多くあったように思われました。

花苗の種類

マリゴールド・ミニヒマワリ・サルピヤ・インパチエンス・カスミソウ・トレニア・ワタ・ルコウソウ・ライラック・コリウス・オジギソウ・羽毛鶏頭・折鶴ラン・蝦蛄葉サボテン・他 20 種。

昨年は午後 8 時 30 分になってもだいぶ売れ残って無料で配布した苦い思いがあったため、今年は値段を昨年の半額くらいに押さえた為か、午後 8 時前に完売できました。安すぎたせいか売上金は 39,682 円でした。(昨年は 43,218 円) 売上金は福祉まつりのチャリティーバザーの売上金を併せて寄付いたします。

今年の区民まつりは昨年と比べると、出足が早く、人出も多く、遅くまで賑々しく思われた。これも区役所の関係者の皆様を始め、各種団体の方々、ボランティアの皆様方の努力のたまものではないかと感じております。一番印象に残ったのは各学区の婦人会の皆様の盆踊りでした。東京音頭の替え歌の、昭和区音頭の歌にのって大勢の浴衣姿のご婦人方が楽しそうに踊っている光景は壮観でした。



第17回昭和区の福祉まつり

12期 生活A 松下 正

8月29日(日)恒例の「第17回昭和区の福祉まつり」が昭和区役所にて開催されました。参加団体は今年の44団体よりも多い45団体と、年々盛んになっています。

私たち昭和鯨城会は屋外駐輪場におけるチャリティーバザー、講堂ステージでの出演および講堂内でのパネル展示に参加しました。

バザーでは広江、岩田、市野氏のご指導によりライトハウス、クリエイト川名にて会員有志が土鈴づくりに励まれ110個を完成、今年の残と合わせ販売しました。100円寄付の上土鈴への絵付けを子どもさん達に楽しんでいただきました。又陶芸学科、陶芸クラブ出身の方々より作品75点のご寄贈がありました。バザー売上げは土鈴70個、作品50個となり寄付を含め合計19,010円となりました。区民まつりでの「花苗」売上げと合わせて、「昭和区社会福祉協議会」へ寄付の予定です。ライトハウス、クリエイト川名さんはじめご協力ご支援いただいた方々有り難うございました。

ステージ出演は11時40分頃開始

- 1、舞踊「佐渡の恋歌」9期 須崎 俊子
- 2、歌謡吟詠「名槍日本号」キーボード 4期 伊藤秀雄
ハーモニカ 9期 栗田龍彦
ナレーション 4期 田中美代子

詩吟 黒田節(うた) 伊藤秀雄・栗田龍彦・4期 橋本博行、
田中美代子・8期 柴田 武・11期後藤
林造・11期光崎俊男・11期林 功三

の諸氏で約10分間大いにもりあがり、観客の拍手をうけました。

ステージ最後の閉会式での小学生の感想の中に、「一番楽しかったのは土鈴の絵付」という発言があり、来年も又頑張りたいとの意欲がわきました。

それにしても開会式が15分も延びるのは何とかならないかと思えます。

Ⅲ. 街道の野仏さん

塩付街道にしても飯田街道にしても一番多く見られる仏さんは、お地藏さんと馬頭観音さんと思います。

i. お地藏さん 地獄思想が中国から我が国にもたらされたのは（710年～770）であるが、広まったのは平安時代で、入唐僧の最澄（805年帰国）空海（806年帰国）などによって地蔵に関する經典が持ち帰ってからでご利益は今日に至るまで民衆に向かって説かれてきた。他の仏様のように本堂の奥深く須弥壇の上にも荘厳にしていられる仏様と違って、お坊さんのお姿であります。そして人々の目線にあることから、親しみが感じられるのです。（小さな僧形）道端にそっと立ったり、寺の門をくぐっても直ぐ見ることができる身近な仏さまであった。今日ではお堂に入ってしまったものもあるが、むかしは殆ど野外（露天）でした。

なお唐の時代の地蔵思想に「えん魔は冥界の支配者であってそのえん魔が現世に姿を表したのが地蔵」という考え方もあります。

◎お地藏さんは、辻、六、水かけ、子安、北向、竹やぶ、双体、キリシタン、金蔵延命、勝単、鉄、重軽、石、など多彩です。

ii. 馬頭観音 愛知県の海浜で生産される塩も馬の力がなかったら、遠い遠い信州や美濃の国へ円滑に送ることは叶わなかったであろう。江戸時代、信州の馬かせぎ人たちは同業者の組合「賃馬」「中継馬」などがいわゆる「中馬」の語源であるがこの中馬の人達が、馬を大切に、道中の安全を祈って街道に馬頭観音を安置したものである。およそ10町（900m）ごとにあつたそうである。現在足助にある馬頭観音さんの傍らに馬の水飲み場を設けたところもある。その水槽には馬掬（接）水と刻み込まれている。また、中馬の人たちが泊まる宿は、馬も同じ屋根の下で休めるようになっていたという。

iv. その他

前にも塩付街道は塩の道の役目を終っていると云ったが、星崎7カ村で生産された良質の塩も、文政年間（1818～1829）には製塩方式の優れた瀬戸内のものに押されて、生産が立ち行かなくなった。現在では、静かなただずまいの中、住民の生活道路として生き続けている。

完

飯田街道よもやま話

1. 飯田街道の起点をなぜ駿河町というのか？

飯田街道の起点は、今の東電話局の東辺りで名古屋城が出来るまでは、では、「前山」といふ山地であったといわれ、慶長年間に家康が駿河の国からよくここを往来したので町名にとりいれた。といふ説と、駿河の国から勧請した富士浅間神社がその地にあったことにより、駿河町の名を付けたとの説有り。（町名由来記、他）（富士浅間神社は応永5年（1398年）勧請、慶長15年（1610年）城の普請の際、作業場となり、西区浅間町に移転し現存す。跡地（富士中学北）に、富士神社が祀られている。）

2. 飯田街道筋に片岡源五右衛門の出生地があったといわれているが？

名古屋城築城時に「前山」を削り平地にし（現、東桜町1丁目辺り）この地を尾張藩の高級武家屋とした、その中に源五右衛門の生家である熊井家があり、長じて赤穂の片岡家へ養子にいった。東区芳野1丁目の説もある。（町名由来記）

3. 飯田街道が名古屋城の前衛であったというが？

名古屋城築城後、城の周囲に武家屋敷を配し、その外に町家を造り、その外側に寺院を建てさせた。寺院には塀があり、庭園、墓地などの空間があり、防衛、防火役立ち戦略上重要であった（昔の東寺町、今のCBC 辺りから飯田街道をはさみ北の辺り）。八事の興正寺も建立にあたり、藩主光友より堀、塀などを造らされ、戦略上の砦の性格を持たされた、大日如来像も、敵の見晴台として使用するものであったといわれている。

築城前名古屋には6カ寺にすぎなかった寺院が、清洲越し以後240カ寺（南寺町〔現在の大須方面〕を含め）にもなったといわれている。

4. 八事の坂と古井戸のはなし

名古屋の東部、八事へ向かう道は人の往来も激しく、荷物を運ぶ馬車や、大八車にとっては難儀な場所であった。山中（昔は中山といった）辺りからはなだらかな坂が続き、興正寺の東門あたりからは登りが急になり、森が道に迫り、松並木を渡る風の音さえ恐い峠道であった。名古屋と天白とを行き来するには、この坂をこの坂に登らねばならない峠道であった。人々はこの峠にある井戸で水を飲みながら、疲れを癒したといわれる。古井戸は今も八勝館の正面のすぐ東に、蓋をしたまま残っている。家康により岡崎街道が作られたとき、平針以西の飯田街道は整備されている。（愛知県歴史の道調査報告書、他）

5. 飯田街道筋の円教寺の一里塚と白山神社（中区新栄2丁目）のはなし

「金鱗九十九の塵」（こりんつくものちり）桑山好之著（安政元年1854没）に次のように記されています。

円教寺八往古清須に在て白山宮の別当職なり。然に慶長年中清須より白山宮を守り奉りて、名古屋の此地に移る。（中略）就中当院境地の辺り八、古への鎌倉街道とかや。故に近き頃迄昔の一里塚有りしが今八見えず。府下の俳人獅宝いへる人、此一里塚の旧跡を慕い、則寺中に印の石碑を建たり。（注 現存します）

碑 旅人のところや涼し一里塚 獅宝

里諺曰。古しへの往来の並木の松、今も所々に残り有り、（以下略）

12月の18号に続きます